國際經濟週報

新聞聯合社發行

89　(No. 532)　昭和五年四月五日發行　第十二號　第十一卷　(大正九年十月九日第三種郵便物認可)(毎週一回土曜日發行)

東京商工會議所 TOKYO CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY 15.4.7

ドイツ二大汽船會社提携

海運業の合理化

ベルリン　三月十九日(水)

ドイツの二大汽船會社ハンブルグ●アメリカンと北ドイツ●ロイドは今回その南米航路に於ける諸權益をプールするに決定した。これは兩社の一般提携に到達する最も重要なる第一階程と見られてゐる而して聞知する所によれば、この「合理化」は更に極東航路にも擴張する事となつて居り、この結果同航路ではドイツの勢力に影響を與へる事なくして八隻乃至十隻の汽船を撤退させる事が出來ると

ケルン　三月廿一日(金)

ドイツの二大汽船ハンブルグ●アメリカンと北ドイツ●ロイドとはその權益を向後五十ケ年間合同せんとしてゐる。然し兩社ともその獨立を保持し、引續き各自の旗のもとにその船舶を運用する。兩社は重役の交換を行ひ、今後の收益は兩社で同額に分ける。協定の目的は新船の建造を行はずして出來る丈多くの船舶を重要な航路に配置し、又兩社をして新航路を開拓し得るやうにするにある。この結果儲らない航路の營業費は大いに減ずべく、過去の兩社の競爭は一掃される事にならう。

ドイツ海運界の兩巨頭北ドイツ●ロイド(Norddeutscher Lloyd)とハムブルグ●アメリカ●ライン(Hamburg Amerika Linie)が提携する——と云ふ電報が最近入つた。日本で云へば丁度郵船と商船とが握手する樣なものである。

利益共同

合同は二つの會社が一つの會社に合併してしまふのであるが、今回の場合はさうでない。兩社の有する權益をプールする——つまり持船、船路等を相互に提供し、五十年間共同計算の下に之れを運用し、そして利益は折半しやうと云ふのである。ドイツでは斯ふ云ふ例がよくある。インテレッセン●ゲマインシャフト即ち「利益共同」と云ふのがそれである。今度の場合も「利益共同」契約を結んだのであらうと思ふが詳しい事はまだ判からない。電報には重役の交換を行ふとあるが、兩社の獨立性は失はれない。北ドイツ●ロイドの船は從來通り北ドイツ●ロイドの旗をかゝげて航海する。ハムブルグ●アメリカも矢張り同じである。只だ相互に同じ航路に多數の船を配して貨物や客の奪ひ合ひはやるまい。そして儲からない航路の船はドイツの勢力を減殺せざる範圍で引き上げ、重要な航路になるべく多數の配船をしやうと云ふのである。極東航路からは八隻乃至十隻引上げるらしい。又さう云ふ風に船繰りを合理的にする　巨額な金を投じて新しく船を建造しなくても充分に事は足るのみならず新航路の開拓さへも出來ると云ふ譯である。

北ドイツ●ロイド

北ドイツ●ロイドの本社はブレーメンにある。同社は株式資本金一億六千五百マーク、昨年度營業報告によると純益一千四百十九萬三千マーク、配當八分据置となつてゐる。

所有船は百五十六隻、そのトン數八十四萬トンである。航路は南北兩米、東洋に亘つてゐる。

主なる所有船とその船齢を示すと左の通り。

船名	總トン數	建造
ブレーメン	四六、〇〇〇トン	一九二九年
オイロッパ	四六、〇〇〇	一九三〇
ベルリン	一五、二八六	一九二五
コロンブス	三二、三五四	一九三二
ドレスデン	一四、六九〇	一九二四
カールズルーエ	一〇、八二六	一九〇〇
ミュンヘン	一三、四八三	一九三
シエラ●コルドバ	一二、四六九	一九三三
シエラ●モレナ	一二、四三〇	一九二四
シエラ●ヴェンタナ	一二、三九二	一九三三
スタットガルト	一三、三八七	一九三三

ハムブルグ●アメリカ

ハムブルグ●アメリカ●ラインの本社はハムブルグにある。同社の株式資本金は一億六千萬マーク、一九二九年度の營業報告はまだ出ないが、一九二八年度の純益は三千四百萬マーク、配當は年七分(一九二七年は八分)であつた。

所有船は百八十二隻、その總トン數は百十一萬トンに上る。

客船航路はアメリカ、カナダ、南米等で、貨物航路は右の外西インド、キューバ、メキシコ、中米、東洋、オーストラリヤ、アフリカ等に及んでゐる尚特記すべきは船齢がいづれも若く平均八年ぐらいになつてゐる事である。

主なる所有船は左の通り。

船名	總トン數	建造
アルベルト●ボーリン	二〇、八一五トン	一九二三年
クリーヴランド	一六、九七一	一九〇八
ゼネラル●オソリオ	一二、五〇〇	一九二九
ハムブルグ	二二、一三三	一九二六
ミルウオーキー	一六、〇〇〇	一九二九
リライアンス	一九、八〇二	一九二六
レゾリュート	一九、六九二	一九一〇
セントルイス	一六、七三二	一九二八
チューリンギア	一二、三四三	一九三三
ウエストファリア	一二、三四三	一九三三

一ケ年間の關稅休戰協定締結さる

ゼネヴア　三月十八日(火)

國際關稅障壁撤廢への第一歩として先づ現行關稅の据置きを協定しやうとの趣旨から去る二月十七日よりゼネヴアに開催中の關稅休戰條約は十八日深更に及んで漸く一切の難關を解決し各國とも現行通商條約を向ふ一ケ年現狀のまゝ維持する國際協定を締結した。但しオーストリヤ、チエッコ●スロヴアキア及びハンガリーの三國のみは三國間に於て新條約を締結する爲め交渉し得る旨の留保を附して右協定に調印した。

上海海關金單位の告示

〔在上海重光總領事十四日發〕

當地海關は三月十六日以降の金單位換算率を海關兩一、〇〇に對し金單位一、七五とする。但し三月十五日午後四時迄に積荷目錄及び領事館入港通過書を海關に於て受理したる船舶によるものは金單位一、五〇の換算率を以て輸入を許すべき旨十三日附で告示があつた。

支那二月中の對外貿易

〔在上海加藤副領事十七日發〕

二月中の上海港對外貿易推定額は輸入五千八百萬兩、輸出三千四百萬兩で一月に較べ輸入は一割六分增、輸出は一分弱增、昨年二月に較べ輸入は二割九分增、輸出は二割六分增を示した。一般商況不振に拘らず輸入貿易增加が稍々目立つてゐるのは輸入關稅金建に件ふものであらう。

上海以外も概して順調である。只漢口は引續き不況で昨年今頃に比べ輸入六割、輸出一割の減退を示してゐる。

國別索引

毎號連載　事項省略

米國

- ニューヨーク三月一日現在上場株式總數及其の價格……九〇
- 世界最大銀行の出現……九〇
- ニューヨーク準銀再利下するか……九〇
- フイラデルフイア準銀利下……九〇
- サンフランシスコ準銀利下……九〇
- 東洋より金の流入……九〇
- 上院銀課稅案を可決……九一
- 年度收益大增收を指示ユー●エス●スチール昨……九一
- ヨーロッパ製鋼カルテル加入問題……九一
- 米棉の奔騰……九一
- 綿製品課稅案可決……九一
- 一九二九年度棉花最終繰上高……九一
- 二月中の絹物輸入高……九四
- 二月中の卸賣物價指數……九六
- 二月中の自動車生産高……九六

英國

- ロンドン株式の强調……九〇
- イングランド銀行利下……九〇
- 銀塊底堅い……九一
- ランカシア綿業勞働の不安……九四
- 絹物關稅据置か……九四
- 二月中の對日絹織物輸入高……九四
- ポルチック傭船契約……九五
- 三月一日現在勞働者階級生活費指數……九六

佛國—二月中のパリー小賣物價指數……九六

和蘭—ロイヤル●ダツチ石油社債發行……九〇

獨逸

- 二大汽船會社の提携……八九
- 二月中の銑鐵及鋼塊生産高……九一
- 二月中の大豆輸入高……九五
- オイロッパ號處女航海に上る……九〇

墺地利—國立銀行利下……九〇

諾威—國立銀行利下……九〇

印度

- 銀課稅法案の提出……九一
- 銀輸入稅削除動議否決……九一
- 綿布關稅討議の經過……九四
- 二月中の輸出入額……九六

海峽植民地—馬來ゴム二月末在荷……九五

瓜哇—本年第一回ジヤワ糖生産豫想……九五

支那

- 上海海關金單位の告示……八九
- 二月中の對外貿易……八九

日本—マラッカ丸の衝突……九五

世界

- 關稅休戰協定の締結……八九
- 綿製品宣傳委員設置……九四
- 國際船舶吃水設定の決議……九五

(本號所掲電報=昭和五年三月十六日——二十二日迄發信)

A4 8

（昭和五年三月十六日——二十二日發信）

株式・金融

ニューヨーク株式市況

ニューヨーク 三月廿二日(土)

金利が安いので人氣は良くなり、取引も增加した。就中石油、鐵道、鐵鋼、自動車、化學製品、タバコ等の諸株が活況を呈した。その後相場は利喰賣りと空賣りが多量に現はれたので著しく浮動した。コール・マネーは三分半乃至二分の低率にあり、一流銀行引受手形割引率も數次の引下げを見た。又タイム・マネーも引弛みを呈した。かく金利が安いことは結局商工界株界を引立てるものと見られてゐる。然し一部ではこの低金利は商工方面の資金需要が非常に尠ないことを示すものだとして弱氣材料にとるものもある。

イングランド銀行が廿日(木)四分から三分半に利下げしたがニューヨーク準備銀行もこれに追隨するものと期待される。然し斯く矢繼早に利下げすると株の思惑熱を猛然と擡頭せしめはしないかと懸念されるので、利下げはそう急に行はれないだらうと信ぜられる。

債券市場は金融引弛みの爲め一般に強調である。

ニューヨーク上場株式總數及價格

ニューヨーク 三月廿一日(金)

ニューヨーク株式取引所發表、三月一日現在の同取引所上場株式總數及びその價格並びに一株當り平均價格は左の通りである

三月一日現在　昨年同期

上場株式總數	一、一七〇、〇一二千株	八四二、五三千株
同總價格	七〇、八〇七、〇〇〇千弗	七一、八七二、〇〇〇千弗
一株當り平均價格	六〇弗五二	八五弗三〇

（備考）過去十二ヶ月の毎月一日現在の比較數字は左の通り。（單位株式總數千株、總數價格百萬弗、一株當り價格弗）

	株式總數	總價格	一株當り價格
昨年三月	八四二、五三二	七一、八七二	八五・三〇
四月	八六一、七一六	六九、七〇	八〇・八七
五月	九七、四八二	七三、七一九	八一・一三
六月	九三、三三五	七〇、九二一	七六・〇六
七月	九五、三四一	七七、二六四	八一・三七

八月	一、〇一〇、一四四	八四、三三三	八二・五六
九月	一、〇四八、三五九	八九、六六八	八三・〇六
十月	一、一〇一、四一九	八七、〇七四	六九・六二
十一月	一、一一〇、一七三	七一、七五三	六四・九二
十二月	一、一二七、一二七	六三、五六九	五六・九二
本年一月	一、一二七、六八二	六四、七〇八	五七・三八
二月	一、一四四、七一六	六九、〇〇九	五九・二五
三月	一、一七〇、〇一二	七〇、八〇七	六〇・五三

ロイヤル・ダッチ石油會社々債發行

アムステルダム 三月廿日(木)

ロイヤル・ダッチ石油會社は今回株式乘換權利付社債を發行する事になつた。その條件左の通り。

一、發行總額　四千萬ドル（一部はニューヨークで、一部はアムステルダムで發行）

一、利　率　年四分

一、償還期限　十五ヶ年

▲應募成績良好▼

ニューヨーク 三月廿一日(金)

ロイヤル・ダッチ石油社債の一部が本日ニューヨークに於て八十九半の價格で賣り出されたが非常な應募超過となつた。因に今回の起債交渉は全部大西洋横斷の長距離電話を通じて行はれたのであると。

ロンドン株式市況

ロンドン 三月廿日(木)

イングランド銀行は本日公定割引歩合を四分より三分半に引下げ、而も金利は引續き低落を示すべき徵候があるので、市場の人氣は各方面共頗る引立つてゐる。然し買ひ氣は殆ど全く優等證券類に集中され、優等證券類は多額の投資買ひに擁せられて頗る活況を呈してゐる。これに連れてインド公債及び多數のヨーロッパ公債も引續き踊つてゐる。又ブラジル公債も更に強調を呈し、日本及び支那公債も氣配良好である。一方これ迄餘り引立たなかつた工業株方面の人氣も稍良好になり、相場は一般に見直した。然し實際の商内は依り增加してゐない。石油株は浮動し、ゴム株は鈍狀乍ら手堅い。

ロンドン公社債相場

日本公社債額面(百ポンドに付)

	利率	三月十七日	廿日
		磅	磅
英貨六分利公債	六	一〇〇・四分一	一〇一・
第三回英貨公債	五	九三・二分一	九四・二分一
東京市事業公債	五	八一・	八四・
同電氣事業公債	五	八八・二分一	八九・
大阪市電鐵水道同	五	九四・二分一	九四・二分一
第十三回興銀社債	五	九三・二分一	九四・
第四回滿鐵社債	四半	八九・	八九・界一
第十九回同	五	九四・二分一	九四・二分一
東京電燈新社債	六	九二・二分一	九四・
東京市新英貨公債	五半		

ロンドン金融市況

ロンドン 三月廿日(木)

金融は初め稍引締りを呈したが、その後資金の供給は各方面共潤澤である手形の割引市場に於る商内は引續き少い。然し利率はなほ低落歩調をとつてゐる。

ロンドン株式の强調

ロンドン 三月廿一日(金)

ロンドン株式市場の優等證券類は廿一日(金)再び非常に强調を呈し、又イギリス鐵道社債、植民地公債、ブラジル公債等は投資目的の買物增加につれ著しく奔騰した。

世界最大銀行の出現

ニューヨーク 三月十八日(火)

ウオール街に於て傳へられて居たチエース・ナショナル銀行（Chase National Bank）とユイタブル・トラスト(Equitable Trust Co.)及びインターステート・トラスト・カンパニー(Interstate Trust Co.)三社の合同交渉はこの程完了して本日公式の發表があつた。この新合同銀行は資產二十八億ドルを擁し世界最大の銀行である。而して新銀行名はチエース・ナショナル銀行と決定した。

（備考）從來世界最大の銀行といへばイギリスのミッドランド銀行であつた。所で同銀行昨年末の資產額は四億四千六百萬ポンド(約二十一億六千七百萬ドル)となり、ニューヨークのナショナル・シチー銀行に席を讓つた。ナショナル・シチー銀行昨年末の資產額は二十二億六百萬ドルであつた。然し今回合同交渉完了の新銀行は資產二十八億ドルとあるから斷然世界第一となつた譯である。

ニューヨーク準銀果して再利下するか

ニューヨーク 三月廿二日(土)

イングランド銀行が最近三分半に利下げし、ニューヨーク聯邦準備銀行と同率になつた。この結果ニューヨーク聯邦準備銀行が更に利下げするかどうかが目下市場の問題となつてゐる。

ある方面では、イングランド銀行の利下げはニューヨークが更に利下げすべき前徵であると見てゐる。然しニューヨーク聯邦準備銀行重役は廿日（木曜日）の重役會でも利下げせず、又同行の當局者も利下げ問題に就ては冷淡である。而して次の樣な說もある。即ち市中金利は既に著しく安く、今更準備銀行が利下げして金利安を誘導する必要はないと。又準備局當局も一度起つた株式思惑熱は容易に消し止め得ないものである事を知つてゐるから金利を過度に安くしてこの危險を再びする樣な事は欲しない。今や世界的低金利時代となつてゐるのだから、英米間の金利關係は以前の如く重要視されない。尤もニューヨーク聯邦準備銀行が三分に利下げしやうと思へば、利下げの理由をイングランド銀行率に求める迄もなく現在のニューヨーク市中金利の安い事丈でも充分の理由になる。

フイラデルフイア聯邦準備銀行の利下

フイラデルフイア 三月十九日(水)

フイラデルフイア聯邦準銀は公定割引歩合を四分半より四分に引下げた。

サンフランシスコ聯邦準備銀行の利下

サンフランシスコ 三月廿一日(金)

サンフランシスコ聯邦準銀は公定割引歩合を四分半より四分に引下げた。

（備考）これで十二聯邦準備銀行中、ニューヨークは三分半、ボストン、シカゴ、カンサスシチー、クリーヴランド、フイラデルフイア、サンフランシスコの六行は四分となり、殘りは全部四部半である

イングランド銀行利下

ロンドン 三月十九日(水)

金融引弛みとイングランド銀行が更に利下げを行ふべしと氣構へられるため優等證券類は色めき立ち、特に本日は一段高を演じた。これは多額の投資需要が現はれてゐる一方賣り物が少いためである。

ロンドン 三月廿日(木)

イングランド銀行は本日その公定割引歩合を四分より三分半に引下げた。同行の割引率變更左の如し。

一九二九年二月七日	五分半
九月廿六日	六分半
十月廿一日	六分
十一月廿一日	五分半
十二月十二日	五分
一九三〇年二月六日	四分半
三月六日	四分
三月廿日	三分半

▲更に利下模樣▼

ロンドン 三月廿日(木)

イングランド銀行は廿日公定割引歩合を(一九二三年七月以來の低率)引下げたが、同行は近く更に利下げするものと期待されてゐる。

（備考）現在ニューヨーク準備銀行の公定割引歩合は三分半であるが、別電によればロンドンではニューヨークも更に利下げするものと期待してゐる。最近ロンドン及びニューヨーク金利が左表の如く益低落してゐるのを見れば再利下げ豫想の出るのも無理はない。

	ロンドン手形割引率(三ヶ月拂)	ニューヨーク 銀行引受手形割引率(九十日物)	ニューヨーク コール	ニューヨーク マネー
昨年三月廿一日	五歩廿分廿一	五歩八分五	四・	九歩
本年三月三日	三・廿分廿三	三・八分七	三・半	
十七日	二・廿分廿九	三・界一	三・半	
十八日	二・廿分廿七	三・八分一	三・半	
十九日	二・廿分廿三	三・	三・	
廿日	二・半	二・八分五	二・	
廿一日	二・廿分廿七	二・八分五	三・	

オーストリヤ銀行利下

ウヰーン 三月廿一日(金)

オーストリヤ國立銀行は本日公定割引歩合を六分半より六分に引下げた。同行は去る二月十日七分から六分半に利下げしたばかりである。

ノールウエー銀行利下

オスロ 三月廿日(木)

ノールウエー國立銀行は廿日その公定割引歩合を五分から四分半に引下げた。因みに同行は昨年十二月廿七日五分半より五分に引下げたのである。

爲替・銀塊

ロンドン外國爲替市況

ロンドン 三月廿日(木)

商内は頗る閑散。英米爲替は手堅い特に本日はイングランド銀行の利下げに連れニューヨーク聯邦準備銀行も再利下げを行ふものと期待され疑りを呈してゐる。ヨーロッパ大陸爲替は動き少く、支那爲替は銀相場に連れて浮動してゐる。日本爲替は頗る手堅い。

アメリカへ東洋より金輸送

ニューヨーク 三月十八日(火)

東洋向爲替業者として著名なエクイタブル・イースタン・バンキング・コーポレーション（Equitable Eastern Banking Corporation）は本日左の如く發表した。

最近支那に於ては銀相場低落の結果金が市場に現はれて來る樣になつた當社は直接爲替取引によつて日本、上海、香港に於て合計五百萬ドルの金を買ひ付け、目下アメリカへ向け輸送中である。

ロンドン銀塊市況

ロンドン 三月廿日(木)

今週のロンドン銀塊市況に關し、モーカッタ・ゴールドスミッド商會の週報は左の如く報じてゐる。

ヨーロッパ大陸筋の賣り物は頗る少なかつた。これは支那筋の需要續出と相俟つて最近の相場騰貴の原因をなした。インドは積出し及び買ひ埋めの註文を出したが、然しこの買ひ註文は先物賣りによつて若干相殺され市場に大して響かなかつた。

今後の見込如何といふに、ヨーロッパ大陸筋が引續き賣り控えてゐる限り現在の値頃は維持出來やう。且つ支那が引續き買つてゐる事及び支那の銀輸入稅課稅の懸念が薄らいだ事は市場に好感を與へてゐる。

アメリカ上院　銀課税案の可決

ワシントン　三月廿日（木）

アメリカ上院は廿日の會議で銀一オンスにつき三十セントを課税する案を討議し結局十二票對五十五票でこれを可決した。因に現在銀は無税である。

ロンドン銀塊底堅い

ロンドン　三月十九日（水）

本月初旬十九ペンス臺割れの安値に低迷してゐたロンドン銀塊相場は最近一、二週間は相當底堅い成行きを示し殊に本日の如きは現物、先物共に昨日より十六分ノ三ペンス方上伸びた。この形勢に關しロンドン着名の銀塊仲買商サミュル・モンタギュー商會は左の如く報じてゐる。

ヨーロッパ大陸からの賣り物は幾分下火となつたが、アメリカは依然賣り氣を見せた。尤も支那から相當需要があつたので相場は手堅く維持された。インドは少量乍ら先物を賣つたが本國へ積出すための買ひ物も若干出した。又空賣りの買ひ埋めも少量出た。期近物に對する需要が以前程底力がなくなつたので現物と先物とは漸次鞘寄せして來た。

インド銀課税法案提出

ニュー・デリー　三月十七日（月）

インド財政長官シャスター氏は本日銀消費税法案（Silver Excise Duty Bill）を立法議會に提出した。然し本日は關税法案の討議に一日中費したので上程には至らなかつた。

銀輸入税削除動議否決

ニュー・デリー　三月廿二日（土）

インド立法議會は政府提出の財政法案中より銀輸入税課税案（一オンスに付四アンナ）を削除せんとする動議を討議し、結局四十九票對五十六票でこれを否決した。この結果財政法案の通過は今や確實となつた。

金物

ニューヨーク金物市況

ニューヨーク　三月十九日（水）

△鋼鐵　鋼鐵會社の生産高は多い所もあり少い所もあり區々である。目下の所では需要が著しく見直す樣な徴候は見えない。然し製鋼會社は自動車工業及び鐵道方面からの買ひ物が近く增加すべしと期待してゐる。

△銑鐵　閑散、新規引合は尠なく、主として小口物に限られてゐる。

△銅　鈍狀、引合も尠い。三月の輸出賣行は今日迄の所約九千トンで、二月の同期の數量が二萬五千トンであつたに比べ著しく振はない。内地の賣行高も豫想よりは少なかつた。然し產銅會社の腰は依然綻りである。

△錫　初め引弛んでゐたが、その後引合が幾分よくなつたので相場は引戻して來た。

△鉛　綻り。消費需要は良好で、特に中西部地方に於て然りである。

△亞鉛　値引きしてゐるものもある樣であるが、消費需要は見直すに至らなかつた。

△安質母尼　引弛。消費需要は不活潑である。

ニューヨーク金物相場

三月十七日（月）

銑鐵第二號鑄物用（一トン）（ピッツバーグ渡）	一九弗二五仙
ビレッツ（ベスマ、同）	三弗
スチール・バー（ベスマ、百封度）	一弗八七仙
スチール・シエープス（同、同）	一弗八二仙
タンク・プレート（同、同）	一弗八〇仙
ブラック・シート（廿四番同）	二弗七〇仙
亞鉛引シート（同、同）	三弗三五仙
鉄力（プライム・ベース）（ボックス、一箱）	五弗二五仙
三月廿日（木）（一封度）	
海峽錫（一口一車廿五トン c.i.f. 紐育）	三六仙八分七
亞鉛（一口一車プライム・ウエスタン f.o.b. 聖路易渡）	四仙八分七
鉛（一口一車紐育渡）	五仙三分一
安質母尼（一口廿五トン關稅濟 f.o.b. 紐育）	七仙八分七

（電氣銅相場は第四頁に掲載）

ユー・エス・スチール會社　昨年度の收益大增收

ニューヨーク　三月十九日（水）

ユー・エス・スチール會社は本日昨年（一九二九年）度の營業報告を發表した。その要點を摘記すれば左の通りで一昨年度に比し一段の好成績を示して居る。

	一九二九年	一九二八年
總收入	二六六、〇〇〇千ドル	二〇〇、九六六千ドル
純益	九七、〇〇〇	二六六、〇六八
優先株配當金	三五、〇〇〇	三五、三一〇

普通株同　六四、〇〇〇
剩餘金　一〇八、〇〇〇　九五、八一四
元、二四〇

而して配當率は据置きの年七分である。

（備考）同社過去の業績は左の通りである

（單位百萬ドル）

	總收入	純益	剩餘金
一九二四年	一六一	一〇四	二四
二五年	一六六	一〇九	二三
二六年	一七〇	一三五	二六
二七年	一七一	一〇五	一三
二八年	二〇一	一三六	一九
二九年	二六六	一九七	一八

アメリカの製鋼カルテル加入問題

ニューヨーク　三月十七日（月）

ヨーロッパ製鋼カルテルが鋼鐵生產過剩の現狀に鑑み製鋼業者の世界的連絡を圖るため先にアメリカに對し製鋼カルテル加入方を提議したが、この問題は最近パリで開かれたカルテルの會合に於て非公式に討議された。右に關しアメリカの獨立製鋼會社（ユー・エス・スチール會社以外の製鋼會社）中の某有力會社社長は次の如く語つた。

この問題について確定的の協定を結ぶことは不可能である。何となればアメリカにはトラスト禁止法がありこの種の計畫實現の大きな障害となつてゐるからである。又パリでの會議の結果も話す譯には行かぬ。然し他の有力筋の間ではアメリカとヨーロッパの鋼鐵輸出商間に何等か適當なる提携を結ぶことは十分可能性あると考へてゐる。

ロンドン金物市況

ロンドン　三月廿一日（金）

市況は幾分綻り模樣となつた。

△銅　格別特記すべき材料もない。然し氣配は多少見直した。

△錫　目下の値頃では可成り下げ澁りの態である。賣り手は一般に賣り控へてゐる。各方面では錫の需給統計は既に悪い絶頂を越したと見てゐる。然し人氣は非常に動搖してゐるから目下の所では相場の著しい騰貴は望み難い。

△鉛　市況活潑。需要は鉛生產者組合を代表する筋の賣り物によつて滿されてゐる。

△亞鉛　賣り手手控へのため市況は手堅い。

イギリス鐵類市況

（在ロンドン松山商務參事官廿一日發）

△鐵鋼　不振。銑鐵需要期節に拘らず政府財政方針に對する先行不安に註文皆無。クリーヴランド三號七十二シル六ペンスを保持し居るも買ひ手先安を確信し買ひ控へ。

△鉄力　指値安に取引沈靜。生產手控へ標準物十八シル三ペンス乃至六ペンス。

△黑板　依然不味。

ロンドン鐵類相場

三月廿二日（土）

アイアン・クラウンバー	蘇格蘭	九磅四分三
アイアン・アングル	東北岸	一〇磅四分一
アイアン・テイース		一〇磅
スチール・シップ・プレート		一〇磅二分一
ボイラー・プレート		一〇磅四分三
スチール・アングル		七磅四分三
スチール・ジョイスト		一〇磅二分一
レール		七磅八分三
シエーフィルド・スチール・ビレッツ		七磅八分三
〔ソフト現物〕		八磅
〔ハード同〕		六磅二分一
クリーヴランド・スクラップ		八磅八分一
〔ヘビー・スチール〕		九磅八分五
〔ヘビー・カストアイアン〕		六二志
銑鐵（グラスゴー第三號上物）		六二志二分一
同（クリヴランド第三）（號鑄物用輸出品）		六六志二分一
ブラック・シート（東北岸本船渡）（一束百七封度）		七八志
ワイヤー・ネール		六七志二分一
		三磅二分一
		二志

ドイツ二月中の銑鐵及鋼塊生產高

ベルリン　三月廿一日（金）

ドイツ鐵鋼協會發表、二月中のドイツ銑鐵及鋼塊の生產高は左の通り。

（單位メートル、トン）

	二月中	累計	昨年同期
銑鐵	九六四、五一七	二、〇五六、七三	二、〇八〇、〇七五
鋼塊	一、一七六、四三五	二、四五一、四五八	二、七三九、一七三

（備考）過去一ケ年の月別生產高左の通り

	銑鐵	鋼塊
昨年二月	九八一、六九五	一、二六九、六六三
三月	一、〇六一、二九七	一、三一六、三三五
四月	一、一二一、〇九八	一、四一六、一八一
五月	一、一二五、九八六	一、四二一、一五八
六月	一、一六四、三五八	一、四三〇、〇五二
七月	一、一〇三、三五一	一、四五六、〇七一
八月	一、一六七、八〇九	一、四〇一、七〇七
九月	一、一〇八、九一五	一、三三〇、七九六
十月	一、一五六、九七〇	一、三七六、八五六
十一月	一、〇九〇、九六八	一、二六六、三五七

棉花・綿絲布

ニューヨーク棉花市況

ニューヨーク　三月廿二日（土）

十二月	一、一〇〇、三六八	一、一五六、一〇五
本年一月	一、〇九一、一〇六	一、一五五、〇一三
二月	九六四、五一七	一、一五六、四三五

五月限十四セント見當から出始めた買埋めは十九日（水）に十五セント六四になる迄續いた。右の買ひ物の中には內外實需筋の繋ぎ賣りの買埋めも含まれてゐた。又五月限から先限月への賣り玉乘り換へも多量にあつた。然しその後商內は減退し玉整理につれて相場は小反落を見せた。共販組合筋は五月限の受渡品を引取りさうであるが、これは最近買ひ埋めが續出した一因となつた。他方空賣玉はまだ多額に殘つてゐるものと信ぜられるが、然し買ひ埋めすべしと思はれた筋は既に買ひ埋めを終つたらしい。而して最近商內が減退して來たことから見て人氣は一般に新綿見込みの成行若しくは五月限の買ひ方の態度如何を見てからにしやうと云ふに傾いてゐる樣である。

米棉の奔騰

ニューヨーク　三月十八日（火）

本日の米棉相場は新棉十八ポンド乃至二十六ポンド、古棉三十四ポイント乃至五十ポイントの奔騰を演じ、特に古棉高が注意を惹いた。奔騰の原因は實需及び買ひ埋めが續出した爲である而して五月限は賣り手薄なのでその成行が著しく注意されてゐる。

ニューヨーク　三月廿一日（金）

ニューヨーク棉花は本日新棉七ポイント乃至十六ポイント、古棉二十ポイント乃至三十五ポイント方奔騰し、特に古棉高が注意を惹いた。奔騰の原因は賣り物の少い所へ實需及び買ひ埋めが續出した爲めである。而して五月限は特にその成行が注意されてゐる。大引の氣配は手堅い。

綿製品課税案可決

ワシントン　三月廿一日（金）

アメリカ上院は關税改正法案中左記綿製品關税案を可決した。

毛筋一インチ八分ノ一若しくはそれ以上の棉花より製造した綿製品に對し一封度に付十セントを課す（これは最近長い毛筋の棉花に對し一封度に付七セントを課する案が可決された結果、これ等の棉花を使用する製造家の生產費增を償ふべく設けられたものである）

なほ毛筋の短い棉花に一封度に付四セントを課せんとする案は否決された

（備考）アメリカの棉花及び綿製品輸入額は昨年の數字について示せば左の如くである。

棉花	數量	價格
長毛筋	五一、七六七千封度	一七、六七七千ドル
短毛筋	一七一、五九九	三五、六四六
綿製品	—	六三、四五四

一九二九年度　棉花最終繰上高

ワシントン　三月廿日（木）

アメリカ國勢局は一九二九年度の棉花最終繰上高を左の通り發表した。

ランニング・ベールス　一四、五四五、〇〇〇俵
五百封度俵に換算　一四、八二一、〇〇〇俵

（備考）（單位俵）

	ランニング・ベールス	五百封度俵に換算
一九一〇年	一、五六八、三三四	一、六〇八、六一六
一一年	一、五五五、〇七三	一、五六九、一〇一
一二年	一、四八八、五三九	一、三七三、四一一
一三年	一、九八二、八一一	一、四一八、五六六
一四年	一、五九〇、八四〇	一、六一三、九三〇
一五年	一、〇六八、一七三	一、一九一、八二〇
一六年	一、三六三、九一五	一、四四九、九三〇
一七年	一、二四八、一四二	一、三〇三、三五五
一八年	一、九〇六、四八〇	一、三〇一、〇五二
一九年	一、三三五、五三二	一、四三〇、七六三
二〇年	一、二〇〇、九七〇	一、三三九、八〇三
二一年	七、九七七、七七八	七、九五三、六四一
二二年	九、七九一、三〇六	九、七六二、〇六九
二三年	一〇、一七〇、八九四	一〇、一三九、六一一
二四年	一、二二五、三九九	一、三六、七、九三六
二五年	一、二二一、五一六	一、六、一〇三、六七九
二六年	七、七五五、〇七〇	七、九七七、三七四
二七年	一、一二三、三三三	一、九五六、〇四三
二八年	四、六九一、三三三	四、四五〇、〇七七
二九年	四、五四五、〇〇〇	四、八二一、〇〇〇

今回の最終繰上高千四百八十二萬一千俵（五百封度俵に換算）を昨年十二月八日農務省發表の最終收穫豫想一千四百九十一萬九千俵（五百封度俵）に比較すると九萬八千俵方少くなつてゐる。

なほ今回發表の最終繰上高は本年三月一日までに實際繰上げた數量及び同日以降に繰上げらるべき數量の豫想を合計せるものである。

（棉花綿糸布欄は第六頁へ續く）

（昭和五年三月十六日——二十二日發信）

株式場相

ニユーヨーク

三月	スチール株（百弗）	アナコンダ株（五十弗）	鐵道株二十種平均	工業株三十種平均	モントゴメリ・ワード株（新株）	ゼネラル・モータース（十弗）	諸株出來高
十七日（月）	一八三	七〇・八分七	一五一・六三	二七四・二六	四四・二分一	五二	四六・四分三
十八日（火）	一八五	七一・二分一	一五四・二六	二七七・二七	四四・八分一	五二・八分七	四〇〇
十九日（水）	一八七・四分三	七二・八分五	一五五・二七	二七七・八八	四三	五二・八分一	四〇〇
廿日（木）	一八六・二分一	七二	一五五・七八	二七九・八一	四二・八分五	五一	四八・八分七
廿一日（金）	一九〇	七四	一五五・六八	二八〇・五五	四一	五一・四分三	四五〇
廿二日（土）	一八八・二分一	七四	一五五・一	二七六・四三	三九・八分五	五〇・二分一	四七・八分七
							三〇〇

大阪

紡績	當限	円	一九四・六〇	一九三・八〇	一九八・八〇	一九八・六〇	休	一九九・五〇	三〇〇・五〇
紡績	先限	円	一九四・七〇	一九四・一〇	一九九・五〇	一九九・〇〇	—	—	—
鐘紡新	當限	円	八二・七〇	八一・六〇	八六・一〇	八五・三〇	—	八六・一〇	八六・一〇
鐘紡新	先限	円	八三・二〇	八三・四〇	八六・九〇	八六・一〇	—	—	八六・九〇
大株	當限	円	六七・〇〇	六七・〇〇	—	六七・九〇	—	—	六八・〇〇
大株	先限	円	六七・五〇	六七・一〇	六八・八〇	六八・五〇	—	—	六八・七〇
大株新	當限	円	五一・三〇	五一・七〇	五三・二〇	五三・七〇	—	五三・八〇	五三・八〇
大株新	先限	円	五一・七〇	五一・一〇	五三・七〇	五三・〇〇	—	五三・四〇	—
郵船	當限	円	—	—	—	—	—	—	—
郵船	先限	円	五一・〇〇	五〇・四〇	五一・二〇	五一・一〇	—	五一・〇〇	—

利金

ニユーヨーク

コールマネー	一流銀行引受手形割引率 三十日	歩	三・二分一	三・四分一	三・四分一	三・四分一	休
	六十日	歩	三・八分一	三・八分一	三・八分一	三・八分一	—
	九十日	歩	三・八分一	三・八分一	三・八分一	三・八分一	—
三ヶ月拂手形割引率		歩	二・廿二分廿九	二・廿二分廿七	二・廿二分廿三	二・廿二分一	二・廿二分七

ロンドン

コールマネー	一流銀行引受手形割引率 三十日	歩	三・二分一	三・四分一	三・四分一	三・四分一	休
	六十日	歩	三・八分一	三・八分一	三・八分一	三・八分一	—
	九十日	歩	三・八分一	三・八分一	三・八分一	三・八分一	—
三ヶ月拂手形割引率		歩	二・廿二分一	二・廿二分廿七	二・廿二分廿三	二・廿二分一	二・廿二分七

公社債相場

ニユーヨーク

三月	日本六分半利（百弗）	同第二回四分利（基貨廿磅）（五百金法）	同四分利佛貨（百弗）	東京市五分半利（百弗）	横濱市六分利（百弗）	東拓五分半利（百弗）	東電新六分利（百弗）	大同電力七分利（百弗）	東邦電力七分利（百弗）
十七日（月）	一〇四	九六・八分五	六八	九一	九八	九・四分一	九	一〇〇	一〇〇・四分一
十八日（火）	一〇四・四分一	—	六七	九一・二分一	九八	九・四分一	九	一〇〇	一〇〇・四分一
十九日（水）	一〇四・八分三	九六・四分三	六七	九一・二分一	九八	九・二分一	九・四分一	一〇〇・八分一	一〇〇・四分一
廿日（木）	一〇四・四分一	九六・四分三	六八	九二・二分一	九七・四分三	九・四分三	九・二分一	一〇一	一〇〇・二分一
廿一日（金）	一〇四	九六・二分一	六八	九二・八分七	九八・四分一	九・四分三	九・四分三	一〇一	一〇〇
廿二日（土）	一〇四・四分一	九六・二分一	六八	九三	九八・四分一	九・八分五	九・四分三	一〇一・二分一	九九・四分三

ロンドン

日本六分半利附英貨	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	—

金銀塊相場

ロンドン

一オンス建 銀塊現物	一九・四分一	一九	一九・十六分三	一九・八分三	二〇	一九・十六分十三	一九・八分七
一オンス建 銀塊同先物	一九	一九	一九	一九・十六分三	一九・十六分十三	一九・四分三	一九・十六分十一

ニユーヨーク

外國銀（一オンス）	四一・八分七	四一・四分三	四二・八分一	四一・四分三	四一・四分三	四三・八分一

ボンベイ

英國銀（百トラス建）	五五・〇二	五四・〇〇	五四・〇〇	五四・一〇	—	五五・〇六

上海金塊

金業交易所引値	四九八・八	五〇一・五	五〇〇・九	四九九・三	四九五・七	△四九四・四

横濱爲替

電信爲替

ロンドン（一圓）	志片	二・〇〇・十六分五	二・〇〇・十六分五	二・〇〇・十六分五	二・〇〇・十六分五	二・〇〇・十六分五	二・〇〇・十六分五	二・〇〇・十六分五
ニユーヨーク（百圓）	佛	四九・八分三	四九・八分三	四九・八分三	四九・八分三	四九・八分三	四九・八分三	四九・八分三
パリー（百圓）	法	二二・五五	二二・五五	二二・五五	二二・五五	二二・五五	二二・五五	二二・五五
ボンベイ（百圓）	盧	一三六	一三六	一三六	一三六	一三六	一三六	一三六
上海（參着賣）	百円	一〇二	一〇三	一〇三	一〇三	一〇四	一〇四	—
	南	一〇一・二分一						

金物場相

ロンドン

三月		標準銅（一噸） 現物	標準銅（一噸） 先物	電氣銅（一噸） 買手	電氣銅（一噸） 賣手	標準錫（一噸） 現物	標準錫（一噸） 先物	鉛（一噸） 現物	鉛（一噸） 先物	亞鉛（一噸） 現物	亞鉛（一噸） 先物
十七日（月）	磅	六九・十六分一	六六・十六分十五	八三・二分一	八四・四分一	一六〇・十六分十三	一六一・十六分十五	一八・二分一	一八・十六分九	一七・十六分十五	一八・六分七
十八日（火）	磅	六八・十六分五	六六・十六分十五	八三・四分一	八四・四分一	一六二・十六分一	一六四・十六分三	一八・二分一	一八・四分三	一八・四分一	一八・八分五
十九日（水）	磅	六八・八分三	六七・十六分三	八三・四分一	八四・四分一	一六一・八分五	一六三・十六分十三	一八・二分一	一八・四分三	一八・十六分五	一八・八分十一
廿日（木）	磅	六九・十六分十一	六七・十六分十五	八三・四分一	八四・四分一	一六四・十六分三	一六六・十六分十三	一八・八分五	一八・四分三	一八・八分五	一九
廿一日（金）		休	—	—	—	—	—	—	—	—	—
廿二日（土）											

ニユーヨーク

電氣銅（一封度建） 三、四、五月渡	名目	一八	同	一八	同
電氣銅（一封度建） 買手	仙	—	同	一八	同
電氣銅（一封度建） 賣手	仙	—	同	一八	同
休		—	—	—	—

米國銅輸出會社公定相場

c.i.f. 横濱（一噸）	弗	四一七	四一七	四一七	四一七
c.i.f. ハンブルグ（一封度）	仙	八〇・三〇	八〇・三〇	八〇・三〇	八〇・三〇
休		—	—	—	—

ルーポガンシ

海峽錫一擔建	弗	—	—	八三・八分一	—

外國爲替場相

ニユーヨーク

三月		ロンドン（一磅）	日本（百圓）	上海（百兩）	フランス（一法）	オランダ（一盾）	ドイツ（一金馬克）	イタリー（一リラ）	スイス（一法）
十七日（月）	佛	四・八六・八分一	四九・八分三	四七・十六分三	三・九一・八分一	四〇・〇八・四分三	二三・八五・八分一	五・二三・八分五	一九・三四・四分三
十八日（火）	佛	四・八六・九二・七	四九・七六分七	四七・八分一	三・九一・八分一	四〇・〇九・四分三	二三・八四・四分三	五・二三・二分一	一九・三五
十九日（水）	佛	四・八六・九二・分五	四九・十六分七	四七・十六分三	三・九一・八分一	四〇・一〇三・四分一	二三・八五・二分一	五・二三・八分五	一九・三五・二分一
廿日（木）	佛	四・八六・二分一	四九・十六分七	四七・十六分十一	三・九一・八分一	四〇・一一	二三・八六・八分三	五・二三・八分五	一九・三六・二分一
廿一日（金）	佛	四・八六・二分一	四九・十六分七	四七・十六分十五	三・九一・八分七	四〇・一一・四分三	二三・八七	五・二三・四分三	一九・三七・二分一
廿二日（土）	佛	四・八六・四分三	四九・二分一						

ロンドン

		アメリカ（一磅）	上海（一兩）	ポンベイ（一留比）	横濱（一圓）	香港（一弗）
十七日（月）	弗	四・八六・九二・分三	一・一一・十六分十一	一〇五・八分七	二・〇〇・九二・十六分十一	一・〇六・十六分十一
十八日（火）	弗	四・八六・九二・分五	一・一一・二分一	一〇五・八分七	二・〇〇・九二・十六分九	一・〇六・十六分九
十九日（水）	弗	四・八六・九二・七	一・一一・二分一	一〇五・八分七	二・〇〇・九二・十六分十一	一・〇六・十六分十一
廿日（木）	弗	四・八六・二分一	一・一一・四分三	一〇五・八分七	二・〇〇・九二・十六分十三	一・〇六・十六分十三
廿一日（金）	弗	四・八六・四分三	一・一一・十六分十一	一〇五・八分七	二・〇〇・九二・十六分十三	一・〇六・十六分十三
廿二日（土）	弗	四・八六・八分五	一・一一・八分五	一〇五・八分七	二・〇〇・九二・十六分十三	一・〇六・十六分五

ヨーロッパ

		パリー（普通）	ベルリン	アムステルダム	ブラッセル	マドリッド	ミラン	ベルン
十七日（月）	法	二四・二六・二分一	二〇・三八・四分一	二三・二八・五五	二四・八八・二分一	四九・八八・二分一	二五・二二・二分一	二五・二二・四分三
十八日（火）	法	二四・三〇	二〇・三八・八分三	二三・二二・二分一	二四・八八・八分一	四九・八八・八分一	二五・二二・五五	二五・二二・四分三
十九日（水）	法	二四・三一・二分一	二〇・三八	二三・八八・四分三	二四・八八・八分三	四九・八八・八分三	二五・二二・二分一	二五・二二・二分一
廿日（木）	法	二四・三三	二〇・三八・四分一	二三・二八・五五	二四・八八・二分一	四九・八八・二分一	二五・二二・八分五	二五・二二・二分一
廿一日（金）	法	二四・三	二〇・三八	二三・二一	二四・八八・八分五	四九・八八・八分五	二五・二二・八分五	二五・二二・八分五
廿二日（土）	法	二四・二八	二〇・三八・二分一	二三・一三	二四・八八・八分三	四九・八八・八分三	二五・二二・四分三	二五・二二・一三

ロンドン向電信爲替（一磅ニ付）

		ロンドン（一磅）	日本（百圓）
十七日（月）	盾	休	—
十八日（火）	盾	一二・一三・四分三	二二・二五・二分一
十九日（水）	盾	一二・一三・四分三	二二・二五・二分一
廿日（木）	盾	一二・一五	二二・二五
廿一日（金）	盾	一二・一五	二二・二五
廿二日（土）	盾	一二・一五	二二・二五

電信爲替銀行賣

		ロンドン（一留比）	日本（百圓）	ニユーヨーク（百弗）
十七日（月）	志片	一〇五・十六分十三	一三六・二分一	二七七・四分一
十八日（火）	志片	一〇五・十六分十三	一三六・四分三	二七七・二分一
十九日（水）	志片	一〇五・十六分十三	一三六・四分三	二七七・二分一
廿日（木）	志片	一〇五・十六分十三	一三七	二七七・四分一
廿一日（金）		休	—	—
廿二日（土）		一〇五・十六分十三	一三七	二七七・四分一

上海

電信爲替銀行賣

		ロンドン（一兩）	日本（百圓）	ニユーヨーク（百兩）
十七日（月）	志片	一・一一・四分一	一〇四・八分五	四七・四分一
十八日（火）		一・一一・八分一	一〇五・四分一	四六・八分七
十九日（水）		△一・一一・八分一	△一〇五・二分一	△四六・八分七
廿日（木）		一・一一・四分一	一〇四・八分五	四七・八分一
廿一日（金）		一・一一・十六分七	一〇四	四七・二分一
廿二日（土）		△一・一一・十六分七	△一〇四・四分一	△四七・二分一

香港

電信爲替出來値

		ロンドン（一弗）	上海（百弗）	日本（百弗）	ニユーヨーク（百弗）
十七日（月）	志片	一〇六・二分一	七八・四分一	三七・二分一	二七六・四分一
十八日（火）		一〇六・八分三	七八・四分三	三七・四分一	二七六
十九日（水）		一〇六・八分三	七九	三七・四分一	二七六
廿日（木）		一〇六・八分三	七九	三七・四分一	二七六
廿一日（金）		一〇六・十六分九	七八・四分一	三七・八分五	二七六
廿二日（土）		一〇六・十六分九	七六	三七・八分五	二七六

ルーポガンシ

電信爲替銀行賣

		ロンドン（一弗）	日本（百弗）	ニユーヨーク（一弗）
十七日（月）	志片	二・〇三・十六分十一	一三六・二分一	五六・十六分一
十八日（火）		二・〇三・十六分十一	一三六	五六
十九日（水）		二・〇三・十六分十一	一三六・八分三	五六・十六分一
廿日（木）		二・〇三・十六分十一	一三六・八分三	五六・八分一
廿一日（金）		二・〇三・十六分十一	一三六・十六分一	五六・十六分一
廿二日（土）		二・〇三・十六分十一	一三六・八分三	五六・十六分一

ジヤワ

電信爲替銀行賣

		ロンドン（一磅）	日本（百圓）
十七日（月）	盾	休	—
十八日（火）	盾	一二・一三・四分三	二二・二五・二分一
十九日（水）	盾	一二・一三・四分三	二二・二五・二分一
廿日（木）	盾	一二・一五	二二・二五
廿一日（金）	盾	一二・一五	二二・二五
廿二日（土）	盾	一二・一五	二二・二五

タツカルカ

電信爲替銀行賣

十七日（月）	日本（百円）留比	二六・四分三
十八日（火）		二六・四分三
十九日（水）		二七
廿日（木）		二七・八分一
廿一日（金）		二七・八分一
廿二日（土）		二七・八分一

（昭和五年三月十六日——二十二日發信）

棉花相場

三月 十七日（月） 十八日（火） 十九日（水） 廿日（木） 廿一日（金） 廿二日（土）

ニューヨーク

（一封度建）

三月限	五月限	七月限	十月限	十二月限	一月限	現物
仙	仙	仙	仙	仙	仙	仙
一四・九五	一五・一六	一五・二六	一五・三一	一五・四一	一五・五〇	一五・〇五
一五・五〇	一五・五五	一五・六一	一五・四八	一五・六八	一五・五五	一五・五五
一五・五〇	一五・五七	一五・六五	一五・五七	一五・六七	一五・五〇	一五・五〇
一五・七一	一五・七七	一五・八三	一五・六九	一五・八四	一五・五九	一五・五五
一五・八四	一五・九〇	一五・八三	一五・九〇	一五・八五	一五・五〇	一五・五五

ルーブアヴリ

（一封度建）

五月限	七月限	十月限	現物
片	片	片	片
七・八三	七・九〇	八・一五	八・一五
八・〇九	八・一三	八・一四	八・一三
八・一一	八・一五	八・一五	八・二九
八・〇六	八・一〇	八・一〇	八・三七
八・二七	八・三〇	八・三〇	八・三四
八・三一	八・三一	八・三〇	八・三〇

ヤリドンサキレア

（一カンターケル建）

三月限	五月限	四月限
タラリ	タラリ	タラリ
二七・五〇	二八・〇四	一九・四一
二七・五〇	二八・〇六	一九・四〇
二七・五〇	二八・〇六	一九・四〇
二七・五〇	二八・〇八	一九・四二
二七・五〇	二八・一六	一九・八六
二七・五〇	二八・一〇	一九・四〇
二七・五〇	二八・〇四	一九・四〇

ボンベイ

（一キャンデ！ブローチ）

三月渡	五月渡	三月渡	五月渡	四月五月渡 七月八月渡
留比	留比	留比	留比	留比
一八三	一八	二一三	二一九	二五五
一八	一九二	二一八	二一三	二五九
一八	一九三	二一〇	二二五	二六一
一八九				二六〇
休				
一九八	二〇一	二二九	二二四	二七〇

大阪米

（米棉十俵（三十六擔）建）

三月限	四月限	五月限	六月限	七月限	八月限	九月限
円	円	円	円	円	円	円
四五・三五	四六・一〇	四六・六〇	四六・九五	四七・五五	四七・七〇	四七・七五
四五・四五	四六・一〇	四六・六〇	四七・〇五	四七・六〇	四七・七〇	四七・七〇
四七・一〇	四七・七〇	四八・二五	四八・五五	四九・〇〇	四九・二〇	四九・二五
休						
	四八・九五	四九・五〇	四九・九五	四九・一五	四九・二〇	四九・一〇
		五〇・二〇	五〇・二〇		五〇・二五	五〇・二五

生絲相場

三月 十七日（月） 十八日（火） 十九日（水） 廿日（木） 廿一日（金） 廿二日（土）

ニューヨーク

（定期、一封度建）

三月限	四月限	五月限	六月限	七月限	八月限	九月限	十月限	出來高
弗仙	弗仙	弗仙	弗仙	弗仙	弗仙	弗仙	弗仙	俵
四・三八	四・三五	四・二九	四・一一	四・一六	四・一三	四・一三	一、二五〇	五〇〇
四・五〇	四・四〇	四・三〇	四・一九	四・一七	四・一六	四・一七	五〇〇	七五〇
四・五三	四・五六	四・三三	四・一九	四・一七	四・一六	四・一七	五〇〇	二五〇
四・四三	四・四〇	四・二四	四・一六	四・一六	四・一六	四・一六		
四・四一	四・三三	四・二四	四・一八	四・一七	四・一七	四・一七		
四・三六	四・二五	四・一九	四・一七	四・一七	四・一七	四・一七		

市場相中

ベスト	クラX	同XX	黄廿一	同廿一	白中	日中	本中	糸
十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四	十四
弗仙	弗仙	弗仙	弗仙	弗仙	弗仙	弗仙	弗仙	弗仙
四・四五	四・五五	四・五〇	四・五〇	四・五〇	四・五〇	四・五〇	四・五〇	四・五〇
四・四五	四・五五	四・五五	四・五五	四・五五	四・五五	四・五五	四・五五	四・五五

（昭和五年三月十六日——二十二日發信）

（棉花綿糸布欄は第三頁より續く）

マンチエスター 綿糸布市況

マンチエスター 三月十九日（水）

綿布、綿糸も引合は依然多いが商内は小口で、それも時折出來るのみである。一般に買ひ手の指値が安い樣である。綿糸の相場は左の通り。

二〇手 二片¾—三片¾
三〇手 三•¾—三•¾
四〇手 四•—四•½
六〇手（エヂプト棉） 三•—三•

マンチエスター 廿二日（土）

△綿布 氣配は稍々引立つて來た。引合は增加した。特にインドの引合が多い。インドの引合は各種の綿布に廣く亘つてゐる。而して實際の取引はまだ小口に限られてゐるが、商内は增加の傾向がある。

△綿糸 需要はまだ一般的ではないが大分引立つて來た。或る種の綿糸は盛んに商内が行はれつゝある。

エヂプト綿糸は氣乘薄、引合は大部分安くて成立し難い。

リヴアプール棉花市況

リヴアプール 三月廿二日（土）

現物の需要は相當ある。定期も人氣見直し、需要は一段と增加した。イングランド銀行が利下げした事及び銀相場が見直して來た事が好材料である。又萬國紡織聯合會の上半期の世界棉花消費統計から見て、今迄に喧傳された世界的綿業不振說が當つてゐないといふ人氣も生じて來た。

エヂプト棉の商内は一般に少い。從つて相場は上下何れにも動き易い。

ランカシア 綿業勞働の不安

マンチエスター 二月廿二日（土）

マンチエスター•ガーヂアン紙所報によれば、ランカシアの勞資關係は又復險惡となりつゝある。バーンレー（Burnley）の織布工は傭主側提案にかゝる受持織機臺數を一人當り八臺にする新制度の採用を拒否すべきか否かを投票に問ふ事となつた。右新制度の試驗期間は來週末（三月廿九日）を以て終るのだが勞資間には之に關してまだ何の協定も出來てゐない。傭主側は協定不成立の場合は强制的に之を實施すべきや否やにつき職工側より回答を求められてゐるが勞資双方とも着々と抗爭の準備を整へつゝある樣である。

（備考） ピーヤス氏の調査によるとランカシアの一人當り織機受持臺數は平均四臺となつてゐる。日本は平均五•五臺である。その受持臺數が少い事はランカシアの憂みの一つであり、去る二月十九日ピーヤス氏はリヴアプール棉花研究所での演說中「若しイギリスに於て二交代制及一職工の受持臺數に於ての制限が撤廢されたらランカシアは間もなくその地位を回復し得るであらう」と述べてゐる。

ボンベイ棉花市況

ボンベイ 三月廿二日（土）

先物は米棉高に連れて高い。而して人氣は一般に强くなつて來た。然しこの相場高は完全には維持出來なかつたそれは期近限月のバリチーが著しく狹くなるや、外國消費家からの需要が激減した爲である。

現物に對する輸出商の新規の商内は餘り多くない。然し需要は概して引續き堅實である。これは輸出商が盛んに買ひ埋めてゐるのと、綿製品保護法案通過見越しからボンベイ紡績が盛んに買ふやうになつた爲である。

インドの 綿布關稅討議の經過

ニユー•デリー 三月十七日（月）

去る十四日以來ホリ祭のため休會したるインド立法議會は本日再會した。而して本日も關稅法案に關しては討論の通告者が多く遂に採決に至らなかつた。本日の主なる討論者は左の如し。

△ディワン•チヤマンラル氏

ボンベイ紡績業の不況はその能率不振から來たもので、何等保護の必要を認めない。

△サー•アブダル•グズナヴィ氏

本法案はインドの產業保護に名を藉つて日本を苦しめランカシアを救はんとするものである。

△ハイダー氏

インドその他イギリス帝國の各地方を荒しつゝある日本の野心は徹底的に防止しなければならぬ。

△サー•ダーシー•リンゼイ氏（イギリス人議員團代表）

先程議員控室に於て綿布關稅に反對する川口氏のビラと國民黨議員の所得稅附加稅に反對するビラが撒布されたが、之は頗る不都合である。インドは日本の平和的侵略に警戒しなければならぬ。本關稅法案の目的はストレンジヤーの侵入を防止し以て國家的產業を救濟するにある。

△ジヤヤカール氏

余は本法案が一ヶ年實施されたらよいと思ふ。そうしたらイギリスの正直さが試驗されるであらう。兎に角少數者の利益のために三億三千萬人に上る消費階級が犧牲にされんとしてゐることは遺憾である。

△チエチー氏

インドを危險ならしめるものは日本である。本關稅法案中に含まれてゐる對イギリス特惠はインドの產業に影響を及ぼすものではない。吾々は經濟上の特權を政治的利益と交換することを好まない。

△アカリア氏

インドの現狀は斯くの如き法案提出の必要を裏書きしない。

▲保護法案修正後通過か▼

ニユー•デリー十八日紡績聯合會入電

イギリス品を除く外國綿布に財政關稅一割五分の外、五分の附加稅と生地綿布に最底三アンナ半を賦課し、尙現行綿糸關稅を更に三ヶ年間延長せんとする綿業保護法案は十三日及び十七日の二日間に亘つて討議された。然し反對論續出し採決に至らなかつた。十八日よりは綿布、砂糖、銀塊等の輸入稅を含める財政法案上程、廿二日頃迄討議續行の模樣である。依つて綿業保護法案の討議は財政法案採決後となる見込である。政府は特惠反對熱緩和の爲め生地綿布に限りイギリス品にも最底三アンナ半適用の修正には同意するも其他の修正には應じ難いと言明してゐる。依つて此程度の修正にて政府案は通過するものと豫想されてゐる。

▲國民黨の反對決議▼

ニユー•デリー 三月十九日（水）

インド立法議會で反政府の立場にある國民黨は今回その對議會態度を左の如く決定した。

砂糖關稅以外のあらゆる課稅案に反對する。綿布關稅に關してはマラヴイア修正案を支持し英帝國特惠には反對する。但し關稅案が通過したらその時はこれに對する抗議の意味で一齊に議場を退場する。但し議員を辭職はしない。

又インド國民をしてイギリス品をボイコットせしめる件は今後の會議に於て考慮する。

（備考） 立法議會の議員總數は百四十四名內國民黨は十八名である。マラヴイア修正案といふのは一律に一割五分若しくは三アンナ半の何れか高き方を課せよといふのである。

ボンベイ綿糸布相場

三月廿二日（土）

晒金巾二五〇〇番ライブマン	八留比
生金巾二〇〇番ファリ	八留比二分一
粗布三ヤード龍C	六留比八分五
二〇手綿絲	一〇アンナ二分一
一〇手綿絲	七アンナ

上海綿絲相場

△華商紗布交易所大引（支那糸右一六手一梱建）

	三月限	八月限
三月十七日（月）	一五四兩四匁	一五一兩七匁
十八日（火）	一五四兩七匁	一五二兩一匁
十九日（水）	一五四兩五匁	一五一兩九匁
廿日（木）	一五四兩一匁	一五二兩九匁
廿一日（金）	一五三兩八匁	一五一兩八匁
廿二日（土）	一五三兩三匁	一五二兩九匁

綿製品宣傳委員設置

パリ 三月十七日（月）

萬國紡織聯合會委員會が本日パリーで開會され、日本代表としては島田勝之助氏（三井物產ロンドン支店長）が出席した。右委員會では、昨年スペインのバロセロナで開かれた萬國棉花大會の決議、即ち各加盟國に綿製品宣傳委員を設置する件を主として討議した。

なほ過去二十五年間聯合會のために盡して來た書記長アルノ•ビーアス氏は今回辭職し、エヂプト著名の某商店に入社することに決した。後任は氏の子息ノルマン•ビーアス氏が襲ふことになつた。

生絲

ニユーヨーク生糸市況

ニユーヨーク 三月廿日（木）

市況は目下閑散である。然し引合は增加しつゝある。需要は月末迄に見直すものと期待される。一方橫濱及神戶の在荷が頗る多額に上つてゐることは軟材料である。それはアメリカに於る本年の日本生糸消費高がレーヨンの使用增加に押されて昨年より減少するものと豫想されるからである。

△絹製品 荷動きは益々增加しつゝある。特にシヤンツング、シフオン及ジヨーゼットの需要が多い。一方賣り手は値下しつゝある。

△レーヨン 高級レーヨン糸の需要は稍々良好である。

ニユーヨーク 一月中の絹物輸入高

（在ニユーヨーク首席商務書記官廿日發）

一月中のニユーヨーク絹物輸入高は左の如し。（單位ヤード）

	一月中
羽二重	一八二、三七〇
絹紬（日本品）	二七九、五五〇
同（支那品）	三七、二七五

	一月中
	三六八、二一〇
	二〇九、五〇〇
	一五三、三八〇

（備考） 過去一ヶ年の月別數字は左の如し（單位千ヤード）

	羽二重	日本絹紬	支那絹紬
昨年一月	四八七	九三	一〇四
二月	五三三	一、五三四	九〇
三月	四四〇	一、九四八	一〇七
四月	五〇一	一、八二九	一、五九
五月	八四二	一、五〇〇	一、三四
六月	三六四	一、九一四	三五四
七月	三一〇	八九四	二八六
八月	三七五	一、二三八	二六八
九月	三七七	一、九二八	二一七
十月	三八七	一、四八一	六
十一月	三〇三	一、六二九	二四
十二月	二七二	一、八六〇	二四
本年一月	二六八	二一〇	一七六
二月	二八二	二六〇	一五五

イギリス 絹物關稅據置か

（在ロンドン松山商務參事官十九日發）

イギリス政府が絹物關稅を撤廢するや据置にするや否やは區々であるが目下の所財政上の關係で到底撤廢は難かしいから結局据置となるだらうとの觀測が一般に多い。而してレーヨンに對して藏相は生產稅を增稅してその持論たる保護關稅反對の趣旨を徹底するだらうと見るものが多い。レーヨン會社はこれに對し反對論を高唱してゐる。

イギリス二月中の 對日絹織物輸入高

（在ロンドン松山商務參事官十八日發）

二月中にイギリスが日本より輸入した絹織物は左の通り。

羽二重 六三五、一〇〇平方ヤード 三七、八〇〇磅
右以外の 四六三、八〇〇 二四、四〇〇
未染品
未製練品及レーヨン其他との交織品 一〇三、一〇〇 一〇、八〇〇

（備考）

	數量	價格	數量	價格	數量	價格
羽二重			其他未染品		交織品	
昨年二月	四七九	六六	一九〇	三七	一〇三	一一
三月	六六	四六	三七	一六	一六	三
四月	四七四	三三	四六一	三五	一四七	一五
五月	五一四	三五	四〇四	三一	一四七	一四
六月	四九一	三五	四三一	三五	一三六	一四
七月	四九五	三五	四五三	三五	一四一	一五
八月	四五二	三一	三六六	三七	八七	一〇
九月	六一三	四〇	三六六	三〇	八三	一〇
十月	四六六	二八	二〇五	二五	七〇	九
十月	二七七	一九	二四一	二八	一一	二
十二月	二七七	三三	三三	三五	一六	四
本年一月	六四四	二四	八八〇	七六	一六七	一五
二月	六二五	三八	四六四	二四	一〇三	一一

單位、數量は千平方碼、價格は千磅

ロンドン生糸相場

三月六日 廿二日

上海七里經絲（再繰絲）	二志	二志
廣東新式絲羊印（同）	二志	二志
リヨン經絲駝鳥印（同）	一〇志四分三	一〇志四分三
同 太陽印	一〇志四分一	一〇志四分一
日本機械糸飛切	一八志四分三	一八志四分三
同 細絲	一八志	一七志二分一

油脂

ロンドン油脂市況

ロンドン 三月廿二日（土）

△亞麻仁 底り。これはインド筋の賣り物が少いのと買ひ埋めが活潑な爲である。

△亞麻仁油 亞麻仁に連れて高い。

△菜種 最近の相場騰貴に際し相當の商内が出來た。

△滿洲大豆 需要は稍々增加した。

△大豆油 買ひ氣は稍々增加した。

ニューヨーク植物油相場

ニューヨーク　三月十九日（水）

（現物、關稅濟）

亞麻仁油　〔粗製、紐育〕一ガロン　九五仙
　　〔タンク渡〕同　六六仙
菜種油　〔精製、樽入〕〔紐育甲板渡〕同　八仙四分一
棉實油（同上）一封度
　同　〔粗製、紐育〕〔タンク渡〕同　——
大豆油　同、洋岸同　九仙
落花生油　〔東洋品〕〔粗製〕同　二仙四分一
椰子油（錫蘭級）同　六仙八分三
支那桐油　〔樽入、太平洋岸甲板渡〕同　九仙八分七
荏油（同上）同　二仙
蓖麻子油　〔第三號樽入〕〔紐育甲板渡〕同　二仙四分三

（棉實油定期相場は第五頁にあり）

ロンドン大豆油相場

（東洋品、バルク積百十二封度）

三月十七日（月）　買手　二毛志
　　四、五月積　同　二毛志四分一
十八日（火）　賣手　二毛志
　　三、四月積　同　二毛志四分一
　　四、五月積　同　二毛志
十九日（水）　賣手　二毛志二分一
　　四、五月積　同　二毛志四分一
廿　日（木）　賣手（賣手値段で出來値）　二毛志
廿一日（金）　賣手（賣手値段で出來値）　二毛志四分一
廿二日（土）　賣手（賣手値段で出來値）　二毛志二分一
　　名目　二八志
　　四、五月積　同　二毛志四分三

△滿洲大豆（一トンに付）

三月十七日（月）　四月積　賣手　八磅一三志四分三
十八日（火）　三月積　同　八磅一五志
　　四月積　同　八磅一五志
廿　日（木）　二月積　同　九磅
　　四月積（賣手値段で出來値）　九磅一志四分一
　　五月積　同　九磅一志四分一
廿一日（金）　輸送中　同　九磅五志
　　三月積　賣手　九磅八志四分三
　　四月積　同　九磅七志二分一
　　五月積　同　九磅七志二分一
廿二日（土）　輸送中（賣手値段で出來値）　九磅二志二分一
　　三月積　賣手　九磅七志二分一
　　四月積（賣手値段で出來値）　九磅七志二分一
　　五月積　賣手　九磅一〇志

△トリヤ菜種（c.i.f. ロンドン）

三月十七日（月）　三、四月積　賣手　一三磅八分七
十八日（木）　三、四月積（賣手値段で出來値）　一三磅八分七
十九日（火）　三、四月積　買手　一四磅四分一
廿　日（水）　三、四月積同　一四磅八分五
廿一日（金）　三、四月積　賣手　一五磅八分五
廿二日（土）　三、四月積同　一五磅二分一

ドイツ　二月中の大豆輸入高

ベルリン　三月廿二日（土）

ドイツ聯邦統計局發表、二月中にドイツが輸入した大豆は左の如くである。

	一月以降累計	昨年同期
數量	九八六三二トン	三二四七六六トン
價格	一九、一八〇千マルク	三〇、六一七千マルク

（備考）過去一ヶ年の月別數字は左の如し

	數量	價格
昨年二月	六九、八二一トン	一六、九六千マルク
三月	八二、八三一	一九、四四六
四月	一三、三七六	三、一八二
五月	七、一八七五	一六、九〇九
六月	七五、〇二六	七、二六六
七月	八三、三二一	八、九六二
八月	七五、三九九	七、五二三
九月	九、一三一五	二、五七一
十月	九三、七七五	二、四八〇
十一月	一二、八九七	二五、八六一
十二月	六九、二三七	七、五六〇
本年一月	九九、六五四	二〇、六五七
二月	九八、六五三	一九、一六〇

ハルビン豆粕相場

△市中相場邦貨換算（f.o.b. 浦鹽渡百斤建）

三月十七日（月）　賣手見當　三圓五七錢
十八日（火）　出來値　三圓五十五錢
十九日（水）　賣手見當　三圓五十二錢
廿　日（木）　出來値　三圓五十三錢
廿一日（金）　休　——
廿二日（土）　買手見當　三圓五十四錢

大連三品出來高

〔大連重要物產取引所定期賣買出來高〕〔單位大豆油百磅、大豆一車、豆粕千枚〕

	豆油	大豆	豆粕
三月十七日（月）	三五	六九二	六四
十八日（火）	四〇	三六六	一〇
十九日（水）	九五	五〇一	三
廿　日（木）	三〇	五五六	九六
廿一日（金）	休	—	—
廿二日（土）	四五	一、〇〇四	二三

砂糖

ニューヨーク砂糖市況

ニューヨーク　三月廿一日（土）

△粗糖　市況は落付かない。相場は引弛みを呈してゐる。これ無稅糖の賣り物が引續き出てゐる爲である。今週の取引出來高はキューバ糖三萬袋（內二萬五千袋はキューバ共同輸出機關より五千袋は在庫糖）、フイリツピン糖十七萬五千袋、ポルトリコ糖四萬八千袋、合計二十五萬三千袋である。

キューバに於ては共同輸出機關を解散せんとする運動が再發してゐる。最近市況が神經過敏を呈してゐるのはこれが爲めである。最近の情報によれば右解散に贊成の製糖業者は既に必要なる數に達してゐる。而して解散、非解散を決定する爲めに來週會議が開かれることになつてゐるこ。この解散運動のため無稅糖の手持筋は賣り焦つてゐる。それは若し輸出機關が解散こ決定すればキューバからの賣り物が增加するこ懸念される爲である。一方キューバ糖の產額は引續き昨年同期よりも少い。

氣配は目下神經過敏である。營業者は一般キューバの成行を待つてゐる。

△精製糖　新規の商內は皆無である。轉賣筋は賣り値を引下げてゐる。然し會社の賣り値は一封度に付五セントで前週こ變らない。

ロンドン砂糖市況

ロンドン　三月廿二日（土）

市場の注意はキューバの形勢に集中されてゐる。それは共同販賣機關が繼續するか否かに就て不安がある爲である。會員の大部分は解散に贊成してゐるこ信ぜられるが、兎に角これが票決は四月一日に行はれる事になつてゐる。

△粗糖　極めて小量の賣れ行があつたのみである。

△精製糖　弗々需要がある。然し外國糖に對する引合は少い。

△定期　白糖は不活潑。粗糖の相場は漸落したが、商內は相當出來た。

本年第一回　ジヤワ產糖生產豫想

スラバヤ　三月廿二日（土）

ジヤワ・トラストは本年ジヤワ糖第一回生產豫想を左の通り發表した。

（單位トン、一トンは一、〇〇〇キログラム）

		前年生產高
白双廿五番以上	一、七三五、九〇〇	一、七九一、一〇〇
中双及黃双	七三七、三〇〇	七九一、四〇〇
其他	四五、七〇〇	九六、三〇〇
合計	二、五一八、九〇〇	二、六七六、七〇〇
トラスト加盟外工場	二五二、五〇〇	二六二、五〇〇

（備考）（單位トン）

	トラスト工場	加盟外工場	合計
一九二三年生產高	一、八〇一、八〇〇	一〇一、〇〇〇	一、九〇二、八〇〇
二四年同	一、七九一、一〇〇	二九、六〇〇	一、八二〇、七〇〇
二五年同	二、〇四五、七〇〇	二四二、三〇〇	二、二八七、〇〇〇
二六年同	一、八一四、九〇〇	一七五、九〇〇	一、九八九、八〇〇
二七年同	二、一七五、四〇〇	二八、四〇〇	二、二五三、八〇〇
二八年同	二、二七〇、〇〇〇	二六、二〇〇	二、二九六、二〇〇
二九年同	二、二六七、七〇〇	二六、二〇〇	二、二九九、九〇〇
三〇年豫想	二、二五八、九〇〇	二五、一〇〇	二、二七一、〇〇〇

小麥

シカゴ小麥市況

シカゴ　三月廿二日（土）

相場は騰貴した。これは聯邦農事局の買ひ支えこ、新麥の被害程度に就て不安がある爲である　又カンサス州は濕氣不足で惱んで居り西南部の多くの諸州に於ても雨を必要こしてゐる。

一方次の如き說がある即ち現在の在荷（ヨーロッパ向輸送中の小麥を含む）は甚だしく不足を示すべき時が來るであらう。又產地からの情報も作柄惡化を懸念せしむるものが多いこ。一方これに反して內地集散地のエレヴエーターは依然多額の小麥で一ぱいになつて居る。

小麥安定會社は今や一千萬ブッセルの現物小麥こ二千萬ブッセルの定期こを買ひ持ちしてゐる。從つて新麥の作柄が著しく惡くならない限り、これを捌くには長い期間を要するであらう。

リヴアプール小麥市況

リヴアプール　三月廿二日（土）

先頃の崩落後人氣は大分回復し、需要は見直した。相場は引締りつゝある

上海麪粉相場

（現物一擔建）

三月十七日（月）　賣手　三兩六匁二
十八日（火）　同　三兩五匁八
十九日（水）　出來値　三兩六匁一
廿　日（木）　同　三兩五匁
廿一日（金）　賣手　三兩五匁一
廿二日（土）　同　三兩五匁

ゴム

ロンドン・ゴム市況

ロンドン　三月廿二日（土）

思惑買ひは下火こなつた。然し市況は聢りで、相場の動きも少い。これはアメリカ、イギリス內地及びヨーロッパ大陸の買ひ物が若干あるためであるアメリカは特に期近物を買つて居り、ニューヨーク向 C.I.F 四、五月積の引合を出したこ報ぜられる。然し市場は概して無材料である。

馬來ゴム二月末在荷

シンガポール　三月廿日（木）

二月末に於るマレイ聯邦、ジョホール州及びケダ州ゴム商人手持、大農園在荷並に海峽植民地大農園ゴム在荷は三萬八千三百六十九トンこ發表された。

（備考）右を過去の數字に比較すれば左の通り（奧地在荷十月末以前の數字はケダ州の數字を含まず）

	奧地在荷高	輸出港在荷高
昨年二月末	三、三四〇	三三、八三三
三月末	三、二六六	三〇、八〇一
四月末	三、一九六	三、一〇〇
五月末	三、一一二	三、七一〇
六月末	三、一一三	三、一〇四〇
七月末	八、五〇三	三六、六五一
八月末	七、七五五	三三、五七六
九月末	三六、一三一	三四、三一九
十月末	三六、七五六	三六、三六九
十一月末	三六、五三三	三一、五四八
十二月末	四一、八九八	三五、六〇七
本年一月末	四三、九八三	三六、一四九
二月末	八、三六九	四〇、二九三

シンガポール競賣成績

シンガポール　三月十九日（水）

		前週
△賣出高	八三七噸	六七九噸
△賣上高	六七一噸	五五一噸

▲競賣相場（最高値、一封度に付）

クレープ（グッドベール）　三五仙四分一
シート　〔グッドアベレーヂ・クオリティ〕〔リブド・スモーク〕　三五仙四分一

船舶

ロンドン海運市況

ロンドン　三月十八日（火）

市況は鈍狀である。主な成約運賃左の通り。

サンロレンゾ＝イギリス、歐大陸
　雜穀　七、三〇〇噸　五月積　二志
バヒアブランカ＝地中海
　雜穀　八、六〇〇噸　三月積　二志
バヒアブランカ＝アントワープ、ロッテルダム
　雜穀　六、八〇〇噸　三月積　九志
モントリール＝地中海
　雜穀　三萬三千ク　五月積　三仙
　　ヂター
キューバ＝イギリス、歐大陸
　砂糖　四成約（各七千噸）　六月積　一四志
　　七月積　一四志½
　　八、九月積　一四志¾
（但しその後七、〇〇〇トン六月積一四志丁度で更に一契約出來た）
ロンドン　廿一日（金）
引合は初め增加した。然し運賃相場は見直さず、引合もその後再び減退した。主なる成約運賃左の通り。
コンセプシヨン＝アントワープ、ロッテルダム
　雜穀　四八〇〇噸　三、四月積　一〇志¼
サンロレンゾ＝ロンドン、バル、アントワープ、ロッテルダム
　雜穀　七、六〇〇噸　直積　二志
ブエノスアイレス＝イギリス、歐大陸
　雜穀　七、〇〇〇噸　三月積　九志半
ラプラタ＝地中海
　雜穀　六、三〇〇噸　三月積　二志半
西オーストラリア＝イギリス、歐大陸、地中海
　雜穀　七、〇〇〇噸　四、五月積　三志半
ヴアンクーヴアー＝ギリシヤ
　雜穀　七、一〇〇噸　三、四月積　三志半
キューバ＝イギリス、歐大陸
　砂糖　七、五〇〇噸　四月積　三志半
ビルマ＝オランダ
　米　六、五〇〇噸　四月積　一七志

ボルチック傭船契約

ロンドン　三月廿一日（金）

ロンドンのボルチック船舶取引所で左の傭船契約が出來た。

一、トン數　六、八〇〇噸（重量噸）
一、就航路及期間　ランゲーンより上海迄一航海
一、引渡地　ランゲーン
一、引返却地　上海
一、引渡期　直渡
一、傭船料（一トンに付）　三シル四分一

マラツカ丸の衝突

カルカツタ　三月十七日（月）

日本郵船貨物船マラツカ丸（五三七四トン）は當地ホーグリー河に於てドイツ汽船マリエンフエルス號（七五七五トン）こ衝突しマラツカ丸は損傷を受け當地に引返した。マリエンフエルス號はその儘航行を續けてゐる。

オイロッパ號處女航海に上る

ブレーメルハーフエン　三月十九日（水）

北ドイツ・ロイド汽船會社の新優秀船オイロッパ號（巨船ブレーメン號の姉妹船にして總トン數四萬六千トン、速力二十七ノツト）は本日約四千名の乘客を滿載ブレーメルハーフエンよりイギリス海峽諸港經由ニューヨークへ向け處女航海に上つた。

國際船舶吃水設定決議

ロンドン　三月廿日（木）

目下ロンドンに於て開會中の國際船主會議は三日に亘る會議の結果遂に國際共通の吃水線設定に贊成の決議を行つた。而して各國代表者は右決議を各自國政府に通告するに決した。

（備考）商船に對し國際積載吃水協定を締結せんとの運動は戰前より起つてゐた。

イギリス商務省は一九二七年委員を任命し船舶積載吃水線かどの程度に限定すべきかを研究せしめた右の答申は昨年九月に提出された。國際協定は右イギリス委員の案に基いて行はれたものである。

（昭和五年三月十六日——二十二日發信）

アメリカ二月中の卸賣物價指數

ワシントン 三月十八日(火)

アメリカ勞働省發表、二月中のアメリカ卸賣物價指數は九二・一である。これを戰前(一九一三年一ケ年平均)及過去十二ケ年並に最近十二ケ月と比較すれば左の通り。

過去十二ケ年		最近十二ケ月		
一九一三年(平均)	一〇〇	昨年二月	九六・八	九六・七
一九一四年七月	一〇〇	昨年三月	九七・五	九七・五
一九一五年同	一〇四・一	四月	九五・八	九六・三
一九一六年同	一〇四・九	五月	九二・九	九五・四
一九一七年同	一〇三・三	六月	九二・九	九四・二
一九一八年同	九九・七	七月	九八・〇	九四・二
一九一九年同	一〇四・〇	八月	九七・七	九三・四
一九二〇年同	一〇三・一	九月	九七・五	九二・一
一九二一年同	九五・九	十月	九六・三	九二・一
一九二二年同	九六・四	十一月	九四・二	九二・一
一九二三年同	九六・七	十二月	九四・二	九二・一
一九二四年同	九二・一	本年一月	九三・四	九二・一
一九二五年同	九二・一	二月	九二・一	九二・一

右は五五〇種の卸賣値段に就き勞働省統計局が調査したものであつてその平均指數である基準は一九二六年の平均を一〇〇としてある。

イギリス三月一日現在 勞働者階級生活費指數

ロンドン 三月十九日(水)

イギリス勞働省發表、三月一日に於るイギリス勞働者階級の生活費指數は一六一である。これを過去十二ケ年及最近十二ケ月と比較すれば左の如し。

過去十二ケ年		最近十二ケ月		
一九一四年七月	一〇〇	昨年三月	一六六	一六二
一九一五年同	一〇五	四月	一六六	一六二
一九一六年同	一〇三	五月	一六一	一六二
一九一七年同	一〇〇	六月	一六〇	一六二
一九一八年同	一二四	七月	一六一	一六二
一九一九年同	一八六	八月	一六三	一六二
一九二〇年同	一七六	九月	一六四	一六二
一九二一年同	一七六	十月	一六五	一六二
一九二二年同	一七三	十一月	一六七	一六二
一九二三年同	一七六	十二月	一六七	一六二
一九二四年同	一七八	本年一月	一六六	一六二
一九二五年同	一七九	二月	一六六	一六四
一九二六年同	一七一	三月	一六六	一六二
一九二七年同	一七一			
一九二八年同	一六六			
一九二九年同	一六六			
一九三〇年同	一六二			

（備考）右生活費は主な食料品、家賃、衣服、燈火、燃料其他生活必需品の小賣値段より算出したものである。基準は歐洲大戰前(一九一四年七月一日)を一〇〇としてある。

パリー二月中の小賣物價指數

パリ 三月十九日(水)

フランス一般統計局發表、二月中のパリ小賣物價指數は五九八である。これを過去十二ケ年並に最近十二ケ月と比較すれば左の通りである。

過去十二ケ年		最近十二ケ月		
一九一四年七月	一〇〇	昨年二月	六〇二	未着
一九一五年同	一〇七	三月	六〇二	未着
一九一六年同	一二六	四月	六〇五	六〇二
一九一七年同	一八二	五月	六〇六	六〇二
一九一八年同	二〇七	六月	六〇六	六〇二
一九一九年同	二二三	七月	六〇六	六〇二
一九二〇年同	二三四	八月	六〇六	六〇二
一九二一年同	二〇四	九月	六〇二	六〇二
一九二二年同	一八四	十月	六〇二	六〇二
一九二三年同	一七五	十一月	六〇三	六〇二
一九二四年同	一七四	十二月	六〇三	六〇二
一九二五年同	一七四	本年一月	六〇二	六〇九
一九二六年同	一四〇	二月	六〇二	六〇九
一九二七年同	一四五	三月	六〇二	五九八
一九二八年同	一四三			
一九二九年同	一四〇			
一九三〇年同	一〇七			

（備考）右指數はパリに於る一家族四人の勞働者が消費する食料品十一種及び燈火燃料の平均小賣値段より算出したものである。本表指數の基準は歐洲大戰前(一九一四年七月)を一〇〇としてある。

英領インド 二月中の輸出入額

カルカッタ 三月廿日(木)

二月中の英領インド輸出入額は左の通り(單位千ルーピー)

	二月	前年同期	同
輸入	一七三、一〇〇	二、一〇一、四〇〇	二、三一〇、六三八
輸出	二七七、七〇〇	二、八九八、四〇〇	三、〇六〇、五一四
出超	七四、三〇〇	六六、〇〇〇	七四九、八七六

（備考）

	輸入	輸出
昨年二月	一九八、二〇〇	三四八、八三
三月	三一一、七一一	三九一、九八
四月	二四五、四〇〇	八一一、〇〇〇
五月	二二三、三〇〇	六六三、八〇〇
六月	一六八、四〇〇	二五六、三〇〇
七月	一九〇、六〇〇	二七七、一〇〇
八月	二〇三、四〇〇	二七三、七〇〇
九月	一九二、一〇〇	二六二、一七〇〇
十月	一九一、〇〇〇	二六三、八〇〇
十一月	二五五、〇〇〇	二三三、四〇〇
十二月	一七〇、〇〇〇	二四一、〇〇〇
本年一月	二三九、〇〇〇	二六九、〇〇〇
二月	一七三、一〇〇	二四七、七〇〇

アメリカ自動車生産高

ニューヨーク 三月廿日(木)

アメリカ商務省發表、二月中の自動車(乘用車及びトラック合計)生産高は左の如し。(單位臺)

本年二月	三三三、九六二
本年累計	五九七、〇五一
昨年同期	八六七、三八九

(備考)

過去一ケ年の月別生産高左の通り	
昨年二月	四六六、三五二
三月	五八五、二二三
四月	六二一、三四七
五月	六〇四、〇八四
六月	五四三、三五六
七月	五〇〇、三九二
八月	四九八、三七五
九月	四一五、六九七
十月	三七九、九四三
十一月	二七、四二一
十二月	二、九八、〇五〇
本年一月	二七三、〇八九
二月	三三三、九六二

週統計

イングランド銀行週報

ロンドン 三月廿日(木)

▲三月廿日現在(單位千ポンド)

	昨年同期	一昨年同期
公金預金	二、九〇〇	一四、一四一
其他預金	九八、〇〇〇	九八、五九五
政府證券	四一、五〇〇	四七、九一七
其他證券	三二、三〇〇	三〇、四六八
紙幣及金銀貨	六五、四〇〇	五八、九五七
金地金在高	一五四、二〇〇	一五二、八二六
英蘭銀行券流通高	三四八、九〇〇	三五三、八六九
預金準備割合	五八%九五	四九%五三

×印は金銀地金在高

△印は英蘭銀行券流通高と政府紙幣流通高を合計したるもの。

△最近數週統計(單位十萬ポンド)

	諸預金	諸證券	準備金	金地金	銀行券流通高
三月六日	一〇七、三	六〇、五	六五、〇	一五一、三	三四七、三
十三日	一〇四、七	六〇、八	六二、二	一五一、六	三五〇、四
廿日	一〇七、九	六三、八	六五、四	一五四、二	三四八、九

イギリス 金銀塊輸出入額

ロンドン 三月廿一日(金)

▲三月十九日迄一週間(單位千ポンド)

△輸出

金塊	三四三	ドイツへ
		インドへ
銀塊	二一五	香港へ
		オランダへ

△輸入

金塊	一、〇〇八	ガーストラリヤより
		アフリカより
銀塊	一六六	フランスより
		カナダより
		アメリカより

▲一月以降金輸出入額累計

	本年累計	昨年同期	一昨年同期
輸入	一八、九〇九	九、五九九	八、〇四九
輸出	一〇、七五三	一〇、九一八	一七、三一三
内アメリカ	—	六、〇五一	—
インド	三九	九一六	七四九

△最近數週金統計

	輸入	輸出	内對米	對印
三月五日	二四四	—	—	四二
十二日	一、二二五	一六六	—	—
十九日	一、九〇八	三四三	—	一一三

ロンドン正貨積出高

ロンドン 三月廿一日(金)

▲汽船 Mantua 號積

總計	銀貨	一三一、〇〇〇ポンド
ボンベーへ	同	五二、〇〇〇
マルマゴアへ		九〇〇
香港或は上海へ	同	二六、〇〇〇
ボンベーへ	金貨	五一、五〇〇
内カルカッタへ		一三、〇〇〇
マドラスへ		四五〇〇

イングランド銀行 金移動統計

ロンドン 三月廿日(木)

▲三月十九日迄(單位千ポンド)

		解禁以來
受入高	一、八二九	一五八、四一三
引出高	二五六	一六七、三九一
差引純流入	一、五八三	—
純流出	—	八、九七九

△最近數週統計

	受入高	引出高	純流入	流出
三月五日	二八〇	九	二七一	—
十二日	二八三	一三	二七〇	—
十九日	一、八三九	二五六	一、五八三	—

インド政府通貨週報

カルカッタ 三月十九日(水)

▲三月十五日現在(單位十萬ルーピー)

		昨年同期	一昨年同
紙幣流通高		一七、九六七	一八、六一四
銀塊銀貨	在印	一〇、八六六	一〇、五七三
	在外	—	—
金塊金貨	在印	三、三三七	二、九七六
	在外	—	—
證券	印度政府	三、八七三	三、七八九
	英國政府	—	三七七
爲替手形		—	九〇〇

△最近數週統計

	紙幣流通高	在印銀	在印金銀	政府證券
二月廿八日	一八、一五九	一〇、七四九	三、二二七	三、八八八
三月七日	一八、一七一	一〇、七六〇	三、二二七	三、八七三
十五日	一七、九六七	一〇、八六六	三、三二七	三、八七三

	金印度	英國
二月廿八日	二九三	二九三
三月七日	二九〇	—
十五日	二九〇	—

上海銀塊在荷高

上海 三月廿一日(金)

		三月廿日	昨年同期
上海市中總在荷高		一〇四、七四一千兩	七七、一四〇千兩
		一六〇、五一〇千弗	一八、六六〇千弗
		一六、二六一本	九、九一〇本
内支那銀行手持高		二三、〇二〇千兩	二〇、一三〇千兩
		二三四、九一〇千弗	七四、八三〇千弗
		一六、三三九本	八、三九九本

△最近數週統計(上海總在荷高)

	千兩	千弗	本
三月六日	一〇五、〇三一	一五一、七二〇	一八、一五三
十三日	一〇五、一六六	一五一、六一〇	一七、三三六
廿日	一〇四、七四一	一六〇、五一〇	一六、二六一

アメリカ棉花取引所週報

ニューヨーク 三月廿一日(金)

▲ニューヨーク綿花取引所發表(昨年八月一日より累計、單位千俵)

		昨年同期	一昨年同
出廻高		一三、五一三	一三、九六九
米國紡績引取高		五、七一一	五、七五四
輸出高		五、七五六	六、七一八
内日本		八三一	一、〇七七
支那		一六八	二六五
イギリス		一、一三三	一、〇三七
ドイツ		一、五二六	一、〇七三
ニューヨーク在荷		九五	三三
アメリカ在荷		三、二二七	二、五六五
各國棉世界在荷		七、四四八	六、八八一
内米國棉		四、七五三	四、六二〇
世界米棉取引高		一〇、五一三	一一、六二五

△最近數週統計

	出廻高	引取高	輸出高	内日本	米國在荷高
三月七日	一三四	一二六	一四三	一三	三、三〇八
十四日	一三六	一三〇	八〇	六	三、二三三
廿一日	一三一	一一八	一三一	二〇	三、一二七

エヂプト棉花統計

アレキサンドリヤ 三月廿一日(金)

▲アレキサンドリヤ一般取引所發表(昨年九月一日より累計、單位千カンター)

	昨年同期	一昨年同
入荷高	六、九八八	五、一四三
輸出高	四、三〇四	四、一四七
在荷高	三、三三四	二、八九〇

△最近數週統計

	入荷高	輸出高	在荷高
三月六日	一三九	七九	三、七三六
十三日	一三一	一五一	三、七一四
廿日	二〇五	一〇一	三、八一七

ボンベイ棉花統計

ボンベイ 三月廿二日(土)

▲ボンベイ棉花取引所發表(昨年九月一日より累計、單位千俵)

		昨年同期	一昨年同
入荷高		二、四七四	二、〇八〇
輸出高		四七〇	四〇八
支那		二〇一	五〇八
日本		七〇六	四七
其他		三七	八九
計		二六	二六
在荷高		一、四一四	一、五二一
		一、二九八	一、一五六

△最近數週統計

	入荷高	輸出高	在荷高
三月六日	一、〇四七	四〇八	一、〇〇三
十三日	一、〇二一	四七	九〇五
廿日	一、〇九九	五三一	一七

キューバ砂糖統計

ニューヨーク 三月廿一日(金)

△新糖(單位トン)

	昨年同期	一昨年同期
作業中工場	一五五	一六三
生産高	二、五〇〇、〇〇〇	三、二五五、〇〇〇
キューバ消費高	一七、一〇〇	二三、五九三
輸出港入荷高	一、二六、〇〇〇	二、一四五、五六七
輸出高	二三五、四〇〇	一、〇二二、五八一
製糖工場在荷及鐵道輸送中	一、二五六、九〇〇	一、一〇五、八四〇
輸出港在荷	一、一〇〇、七〇〇	一、一三二、九八六

△舊糖

輸出港在荷	四一、七〇〇	一、六二五

△最近數週統計(單位百トン)

	作業工場	生産高	入荷高	輸出高	輸出港在荷高
三月四日	一五五	三二七〇	一、六一〇	二二五	七、八一四
十一日	一五六	二七〇〇	一、七〇〇	一九五	九、四一九
十八日	一五六	五、〇〇〇	一、九三四	三四七	一一、〇〇七

△最近數週統計

	輸出高				在荷高
	總計	歐洲	支那	日本	
三月六日	一二七	四三	一、三二九		一、三二九
十三日	一〇九	八一	一九	一、三三一	
廿日	八三	三七	二六	九	一、二九八

イギリス・ゴム統計

ロンドン 三月十七日(月)

▲ロンドン・ゴム協會(單位トン)

	本年累計	昨年同期
入荷高	一、五九四	三、九〇八
引取高	一、二二七	一、九一三
在荷高	六六、八八五	二六、一四二

△最近數週統計

	入荷高	引取高	在荷高
三月一日	二、八一六	一、一五六	六四、三八三
八日	三、四五三	一、四一八	六六、四一八
十五日	一、五九四	一、二二七	六六、八八五

△週末在荷民間豫想

三月廿一日(金) 一、一〇〇トン增

リヴァプール

▲リヴァプール 三月十七日現在(單位トン)

	本年累計	昨年同期
入荷高	四一〇	四八〇七
引取高	二八八	三〇一七
在荷高	二〇、八四九	—

△最近數週統計

	入荷高	引取高	在荷高
三月一日	一、二一〇	二二五	二〇、六九三
八日	二六四	二三〇	二〇、七二七
十五日	四一〇	二八八	二〇、八四九

△最近數週統計

	昨年同期	一昨年同期
入荷高	一、二六三	一、二二九
總計	三、一五五、〇〇〇	一、七三六
歐洲	三三、五九三	一〇一、三七四
支那	二、一四五、五六七	三三、八七九
日本	三〇、四六八	五八、一八〇
在荷高	四五、〇二二	四五、〇二二

△舊糖

	昨年同期	一昨年同期
輸出高	一、六二五	一、六二五

△最近數週統計(上海總在荷高)

	千兩	千弗	本
三月六日	一〇五、〇三一	一五一、七二〇	一八、一五三
十三日	一〇五、一六六	一五一、六一〇	一七、三三六
廿日	一〇四、七四一	一六〇、五一〇	一六、二六一

○本誌定價一部金一圓(半ケ年——廿六週分——郵稅共金貳拾圓)

發行所 大阪市東區北濱五丁目十二番地 新聞聯合社大阪支社

電話本局二二〇〇番三八四〇番 振替貯金口座大阪六八〇〇〇番

編輯發行兼印刷人 東川嘉一